

## 平成29年第1回士別市議会定例会会議録（第4号）

平成29年3月17日（金曜日）

午前10時00分開議

午前10時36分閉会

### 本日の会議事件

開議宣告

諸般の報告

- 日程第 1 報告第 3号 監査結果の報告について
- 日程第 2 議案第36号 士別市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第 3 議案第37号 士別市手数料徴収条例の一部を改正する条例について
- 日程第 4 議案第38号 平成28年度士別市一般会計補正予算（第10号）  
議案第39号 平成28年度士別市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）  
議案第40号 平成28年度士別市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）  
議案第41号 平成28年度士別市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）  
議案第42号 平成28年度士別市水道事業会計補正予算（第4号）  
議案第43号 平成28年度士別市病院事業会計補正予算（第2号）
- 日程第 5 議案第 3号 平成29年度士別市一般会計予算  
議案第 4号 平成29年度士別市国民健康保険事業特別会計予算  
議案第 5号 平成29年度士別市後期高齢者医療特別会計予算  
議案第 6号 平成29年度士別市介護保険事業特別会計予算  
議案第 7号 平成29年度士別市地方卸売市場事業特別会計予算  
議案第 8号 平成29年度士別市公共下水道事業特別会計予算  
議案第 9号 平成29年度士別市農業集落排水事業特別会計予算  
議案第10号 平成29年度士別市水道事業会計予算  
議案第11号 平成29年度士別市病院事業会計予算  
議案第12号 士別市スポーツ交流館条例の制定について  
議案第13号 士別市有害鳥獣等一時保管施設条例の制定について  
議案第14号 士別市議会議員及び士別市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について  
議案第15号 士別市税条例等の一部を改正する条例について  
議案第16号 士別市廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例について  
議案第17号 士別市墓地条例の一部を改正する条例について

議案第18号 士別市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について

議案第19号 士別市立多寄医院の指定管理者の指定について

議案第20号 士別市朝日地域交流センターの指定管理者の指定について

議案第21号 士別市朝日農業者トレーニングセンターの指定管理者の指定について

日程第6 議案第44号 士別市議会基本条例の一部を改正する条例について

日程第7 議案第45号 議員の派遣について

日程第8 陳情第1号 固定資産評価の見直しに関する陳情について

閉会宣告

---

### 出席議員（17名）

副議長	1番	谷口隆徳君	2番	喜多武彦君
	3番	大西陽君	4番	村上緑一君
	5番	渡辺英次君	6番	谷守君
	7番	松ヶ平哲幸君	8番	岡崎治夫君
	9番	国忠崇史君	10番	山居忠彰君
	11番	十河剛志君	12番	出合孝司君
	13番	遠山昭二君	14番	井上久嗣君
	15番	粥川章君	16番	斉藤昇君
議長	17番	丹正臣君		

---

### 出席説明員

市長	牧野勇司君	副市長	相山佳則君
市立病院副院長	三好信之君	総務部長（併） 選挙管理委員会 事務局 長	中峰寿彰君
市民部長	法邑和浩君	保健福祉部長	田中寿幸君
経済部長	井出俊博君	建設水道部長	沼田浩光君
朝日総合支所長	藤森裕悦君		

---

教育委員会 委員長	五十嵐紀子君	教育委員会 委員長	安川登志男君
教育委員会 生涯学習部長	村上正俊君		

農業委員  
会長

松川英一君

農業委員  
局長

金章君

監査委員

吉田博行君

監査委員  
局長

竹内雅彦君

事務局出席者

議事局長

浅利知充君

議事局長  
議事課主任

岡崎浩章君

議事課  
主任

前畑美香君

議事課主任

粕谷幸広君

(午前10時00分開議)

○議長(丹 正臣君) おはようございます。

ただいまの出席議員は全員であります。これより本日の会議を開きます。

---

○議長(丹 正臣君) ここで事務局長より諸般の報告をいたします。

○議会事務局長(浅利知充君) 御報告申し上げます。

本日の議事日程及び諸報告につきましては、印刷の上、お手元に配付のとおりでありますので、朗読を省略いたします。

以上で報告を終わります。

---

(朗読を経ないが掲載する)

1. 市長から送付された議案は次のとおりである。

議案第36号 士別市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

議案第37号 士別市手数料徴収条例の一部を改正する条例について

議案第38号 平成28年度士別市一般会計補正予算(第10号)

議案第39号 平成28年度士別市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

議案第40号 平成28年度士別市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

議案第41号 平成28年度士別市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)

議案第42号 平成28年度士別市水道事業会計補正予算(第4号)

議案第43号 平成28年度士別市病院事業会計補正予算(第2号)

2. 常任委員会から送付された審査結果の報告は次のとおりである。

陳情第1号 固定資産評価の見直しに関する陳情について(文教厚生常任委員長結果報告)

3. 監査委員から送付された報告は次のとおりである。

平成28年度士別市監査結果報告

4. 予算審査特別委員会から審査結果の報告があった付託事件は次のとおりである。

議案第3号 平成29年度士別市一般会計予算

議案第4号 平成29年度士別市国民健康保険事業特別会計予算

議案第5号 平成29年度士別市後期高齢者医療特別会計予算

議案第6号 平成29年度士別市介護保険事業特別会計予算

議案第7号 平成29年度士別市地方卸売市場事業特別会計予算

議案第8号 平成29年度士別市公共下水道事業特別会計予算

議案第9号 平成29年度士別市農業集落排水事業特別会計予算

議案第10号 平成29年度士別市水道事業会計予算

議案第11号 平成29年度士別市病院事業会計予算

議案第12号 士別市スポーツ交流館条例の制定について

議案第13号 士別市有害鳥獣等一時保管施設条例の制定について

議案第14号 士別市議会議員及び士別市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について

議案第15号 士別市税条例等の一部を改正する条例について

議案第16号 士別市廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例について

議案第17号 士別市墓地条例の一部を改正する条例について

議案第18号 士別市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について

議案第19号 士別市立多寄医院の指定管理者の指定について

議案第20号 士別市朝日地域交流センターの指定管理者の指定について

議案第21号 士別市朝日農業者トレーニングセンターの指定管理者の指定について

5. 議会改革検討特別委員会から送付された議案は次のとおりである。

議案第44号 士別市議会基本条例の一部を改正する条例について

6. 議員から送付された議案は次のとおりである。

議案第45号 議員の派遣について

7. 本会議に出席する説明員を次のとおり追加する。

建築課主幹 峯垣智剛

以上報告する

平成29年3月17日

士別市議会議長 丹 正 臣

---

○議長（丹 正臣君） それでは、これより議事に入ります。

日程第1、報告第3号 監査結果の報告についてを議題に供します。

監査委員の報告を求めます。吉田監査委員。

○監査委員（吉田博行君）（登壇） ただいま議題となりました報告第3号 監査結果の報告について御説明申し上げます。

平成28年度の定期監査につきましては、市長部局、議会、教育委員会、農業委員会及び選挙管理委員会を対象に、平成27年10月1日から平成28年9月30日までに行われた各種契約事務における随意契約及び補助金交付事務、平成28年4月1日から9月30日までに取得及び廃棄のあった重要物品33点を対象として、重要物品管理事務の監査を実施いたしました。

また、定期監査を補完する目的で、行政監査として、災害時物資及び防災資機材の管理事務と士別市奨学金貸与事務について監査するとともに、財政援助団体等に関する監査として、補助金交付団体2団体、公の施設の指定管理者2団体、2施設に係る平成27年度の執行状況について、地方自治法第199条第2項、第4項及び第7項の規定により、それぞれ実施いたしました。

監査の期間、方法、結果等につきましては、報告書に記載のとおりであります。

以上を申し上げ、報告といたします。（降壇）

○議長（丹 正臣君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） 御発言がなければ、以上で報告を終わることに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） 御異議なしと認めます。

よって、報告第3号は報告を終わることにいたします。

---

○議長（丹 正臣君） 次に、日程第2、議案第36号 士別市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。中峰総務部長。

○総務部長（中峰寿彰君）（登壇） ただいま議題となりました議案第36号 士別市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について、その概要を御説明申し上げます。

士別市職員の育児休業等に関する条例における里親については、児童福祉法の規定を引用していますが、本年4月1日付で同法の引用条項が改正されることから、所要の改正を行うものです。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。（降壇）

○議長（丹 正臣君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第36号は原案のとおり可決されました。

---

○議長（丹 正臣君） 次に、日程第3、議案第37号 士別市手数料徴収条例の一部を改正する条例についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。沼田建設水道部長。

○建設水道部長（沼田浩光君）（登壇） ただいま議題となりました議案第37号 士別市手数料徴収条例の一部を改正する条例について、その概要を御説明申し上げます。

本改正は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律の一部改正及び建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律が本年4月1日付で施行されることに伴い、一定規模の建築物に対する省エネ基準適合審査の事務手数料を市が徴収するため、所要の改正を行うものです。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。（降壇）

○議長（丹 正臣君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第37号は原案のとおり可決されました。

---

○議長（丹 正臣君） 次に、日程第4、議案第38号 平成28年度士別市一般会計補正予算（第10号）、議案第39号 平成28年度士別市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）、議案第40号 平成28年度士別市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）、議案第41号 平成28年度士別市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）、議案第42号 平成28年度士別市水道事業会計補正予算（第4号）及び議案第43号 平成28年度士別市病院事業会計補正予算（第2号）、以上6案件を一括議題に供します。

提案者の説明を求めます。相山副市長。

○副市長（相山佳則君）（登壇） ただいま議題となりました議案第38号 平成28年度士別市一般会計補正予算（第10号）から議案第43号 平成28年度士別市病院事業会計補正予算（第2号）までについて、関連がありますので、一括してその概要を御説明申し上げます。

本補正は、各種基金への積立金や病院事業会計補助金などについて予算措置を要するもののほか、年度末の予算整理に伴うものであり、以下、その主な内容について御説明申し上げます。

まず、一般会計、歳入歳出予算のうち、歳出に追加するものについてです。

初めに、総務費では、東日本大震災に関連する事業の地方負担額等に対する財政措置である震災復興特別交付税について、これまでは繰り越して精算する仕組みとなっていました。今年度から、未精算額を一括変換する方法に改正されたことに伴い、376万4,000円を返還金として計上するものです。

財政調整基金費においては、指定寄附による地域振興基金やふるさと応援基金などへの積立金3,092万円を追加計上しました。

民生費では、生活保護費において、平成27年度の国庫負担金の確定に伴い、返還金3,700万円を計上する一方で、不用が見込まれる扶助費3,450万円を減額するものとし、差し引き250万円を計上したところです。

衛生費では、病院事業会計に対する補助金として、今年度の収支不足見込み額である2億2,000万円を追加計上しました。

商工費では、今年度の岩尾内ダム関係負担金が確定し、予算に不足を生じることから、負担金35万円を追加計上しました。

公債費では、今年度見直しを行った起債の借入れ利率が借入れ時に比べて低利となったことや、新規借入れ利率が当初見込みを下回ったことから、元利均等で積算する償還元金390万円を追加計上する一方で、償還利子3,000万円を減額したところです。

一方、年度末における予算の整理に伴う減額として、北地区子どもセンター整備事業など今年度の事業費が確定したものや、市道整備事業費など実施事業の入札により生じた執行残を減額するもののほか、予算の執行状況から、不用額が見込まれる事業について減額したところです。

これらの結果、一般会計の歳出については、2億9,203万4,000円を追加する一方で、6億5,018万円を減額するものであり、差し引き3億5,814万6,000円の減額計上となりました。

次に、歳入においては、国・道支出金、地方債などの特定財源について、歳出との関連からそれぞれ所要の措置を行うものであり、財政調整基金及び前年度繰越金の一般財源をもって収支の均衡を図った次第です。

次に、繰越明許費の補正についてです。臨時福祉給付金給付事業費において、翌年度の申請を800人と見込んだほか、住宅改修促進助成事業費においては3件、住宅新築促進助成事業費においては2件が来年度での完成予定となったことから、それぞれ予算を繰り越して実施するため、所要の措置を講ずるものです。

また、地方債の補正については、歳出予算との関連から、借入限度額の追加及び変更について所要の措置を講ずるものです。

次に、特別会計について申し上げます。

後期高齢者医療特別会計においては、北海道後期高齢者医療広域連合に対する事務費負担金が確定したことに伴い100万円を減額するもので、これに対応する歳入については、一般会計繰入金をもって収支の均衡を図った次第です。

公共下水道特別会計においては、年度末の予算整理に伴う減額として、下水道施設整備補助事業ほか1事業、総額9,000万円を減額するものであり、これに対応する歳入については、国庫支出金及び地方債の特定財源のほか、一般会計繰入金をもって収支の均衡を図りました。また、地方債の補正については、歳出予算との関連から、借入限度額の変更について所要の措置を講ずるものです。

農業集落排水事業特別会計においても、年度末における予算整理に伴う減額として、農業集落排水施設管理運営事業ほか2事業、総額803万5,000円を減額するものであり、これに対応する歳入については、分担金及び地方債の特定財源のほか、一般会計繰入金をもって収支の均衡を図ったところです。

なお、地方債の補正については、歳出予算との関連から、借入限度額の変更について所要の措置を講ずるところです。

次に、企業会計について御説明申し上げます。

まず、水道事業会計において、年度末における予算整理に伴う減額として、資本的支出では、

温西地区整備事業費で1,860万円、緊急時給水拠点確保事業費で2,000万円、総額3,860万円、資本的収入では、国庫補助金950万円、企業債2,910万円をそれぞれ減額するものです。

なお、企業債の変更については、資本的支出予算との関連から、所要の措置を講ずるものです。

病院事業会計においては、収益的収支で一般会計補助金2億2,000万円を追加するものであり、これによって、一般会計からの繰入金予算総額は11億572万8,000円となった次第です。

以上、今回の補正の概要について御説明申し上げます。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。（降壇）

○議長（丹 正臣君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。井上議員。

○14番（井上久嗣君） 一般会計の補正予算の歳入について、1点お尋ねを申し上げます。

地方消費税交付金が当初予算4億6,000万円というところ、減額補正7,232万1,000円されておりまして、結果3億8,700万円云々という金額になっておりますが、まず初めに、これで今年度の地方消費税の交付金というのは確定ということによろしいのでしょうか。

○議長（丹 正臣君） 丸財政課参事。

○財政課参事（丸 徹也君） お答えいたします。

本年度の地方消費税交付金につきましては、3月に入りまして、確定いたしまして、合計といたしましては3億8,767万9,000円ということで決定いたしましたところでございます。

以上でございます。

○議長（丹 正臣君） 井上議員。

○14番（井上久嗣君） 7,230万円と非常に大きな金額の当初予算より減額ということで、非常に財政厳しい中、正直痛いなと思うところですが、消費税というのは、どちらかというところと景気に左右されづらいと言われておりますが、これ、決算委員会等含めて、私も何回か質問させていただいておりますけれども、26年度の決算が2億5,900万円ほどということで、26年度は4月1日、途中から8%になったということで、通年で8%になった27年度の当初予算が3億円で、途中2,500万円補正されて3億2,500万円のところ、決算上は4億3,194万円ということで、4億3,000万円を超したということで、28年度も、それなりに見込まれるだろうということで、4億6,000万円ということで当初予算組まれたと思うんですが、残念ながら、今お話ししたとおり7,000万円を超える減額補正ということで、この大きな要因を教えてくださいと思います。

○議長（丹 正臣君） 丸参事。

○財政課参事（丸 徹也君） お答えいたします。

まず、平成28年度の当初予算におきまして、地方消費税交付金、先ほどお話がございましたとおり、4億6,000万円で当初予算を計上したところでございます。この計上した部分といたしましては、当初予算編成時につきましては、まだ当年の決算金額というのが確定していない

ところでございまして、その決算見込みをベースに、その年度の地方財政計画の伸び率を勘案して計上しているところでございます。平成28年度当初予算で申し上げますと、決算見込みにつきましても、決算ベースとほぼ変わらない4億3,000万円程度が決算として見込まれるということで算定しておりまして、一方、地方財政計画におきましては、11%の伸びがあるということで見込まれておりました。その結果といたしまして、その伸び率の範囲の中で4億6,000万円を計上させていただいた経過がございます。

その中で、こちらの地方消費税交付金につきましては、年間4回に分けて交付されているわけですが、今年度につきましては昨年度を下回る交付が続いておりまして、結果的に予算をかなり下回るという状況になったところです。

その要因といたしましては、国のほうでは、国税収入については依然高い水準で、消費等も含めて見ているところではございますが、現状としましては、その伸びがかなり鈍化してきている状況にあるということで、そういった部分が要因ではないかということで考えているところです。

以上でございます。

○議長（丹 正臣君） ほかに御発言ございませんか。松ヶ平議員。

○7番（松ヶ平哲幸君） 私は、一般会計補正予算の第10号で、10款教育費になりますが、この小学校費、上土別小学校改築事業費で3,350万円、中学校のほうで6,600万円と、2つ合算すると9,950万円の減額と、相当大きな数字になっていますので、改めてこの9,950万円の減額のあった説明を求めたいと思います。

○議長（丹 正臣君） 鴻野生涯学習部次長。

○生涯学習部次長（鴻野弘志君） お答えいたします。

上土別小・中学校の改築に伴う外構工事についてでございますが、当初、これは国の交付金、文部科学省の学校施設環境改善交付金、これを利用するという考えでございました。しかしながら、この交付金の事業の採択がなされなかったこと、このようなことから、工事費の圧縮をせざるを得ないということで、外構部分で4,400万円ほどの縮減をしてきております。

また、旧校舎の解体工事に伴いまして、予算の策定のときにはアスベスト及びPCBにかかわる調査が未実施だったことから、その処分を最大限見込んでおりましたところですが、調査の結果、そのかかる経費が大幅に圧縮され、この金額が約5,400万円ほどと、こういったことで工事費が圧縮できたところということでございます。

以上です。

○議長（丹 正臣君） ほかに御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第38号から議案第43号の6案件は原案のとおり可決されました。

---

○議長（丹 正臣君） 次に、日程第5、議案第3号 平成29年度士別市一般会計予算から議案第21号 士別市朝日農業者トレーニングセンターの指定管理者の指定について、以上19案件を一括議題に供します。

予算審査特別委員長の報告を求めます。渡辺英次委員長。

○予算審査特別委員長（渡辺英次君）（登壇） ただいま議題となりました議案第3号 平成29年度士別市一般会計予算ほか各会計予算及び関連議案18案件について、予算審査特別委員会の審査経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る2月22日の本会議において、全議員をもって構成する予算審査特別委員会が設置され、平成29年度予算に係る19案件の付託を受けたところであります。

審査に当たりましては、2月22日に審査方法について協議した後、3月14日、15日及び16日の3日間、理事者側から予算概要及び予算説明資料等の提出をいただき、議場において、牧野市長を初め各担当部長などの出席を求め、慎重に審査を行ったところであります。

29年度は、環境センターの供用の開始、そして北地区子どもセンターの建設着手、更には市民の安心・安全やサービスの拠点となる本庁舎並びに消防庁舎建設の実施設計などが盛り込まれた、中長期的な視点に立った行財政運営を進めるための予算案が提出されました。

委員会では、地方交付税の減収の見込みがあるなど、依然として厳しい財政状況が示される中で、予算が適正かつ効率的に編成されているか、また、社会資本の整備や地域福祉の充実など、市民生活に寄与しているかどうかを主眼に審査を進めました。

総括質疑、各会計の内容審査及び関連議案の審査においては、活発な議論が行われたところであります。

審査の結果、議案第3号 平成29年度士別市一般会計予算から議案第21号 士別市朝日農業者トレーニングセンターの指定管理者の指定についてまでの19案件は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

なお、29年度一般会計のうち、庁舎改築事業については、当初予算1億1,074万8,000円にとどまらず、総予算30億円を超える大型事業となり、その建設工事等により本事業が地域経済に与える影響は多大であります。本事業の執行に当たっては、市民、関係団体等の理解を得ながら、地域の雇用と経済の安定という観点からも、市内経済の活性化と市内企業育成のための配慮を望むものです。

以上で報告を終わります。（降壇）

○議長（丹 正臣君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、委員長の報告のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第3号から議案第21号の19案件は原案のとおり可決されました。

---

○議長（丹 正臣君） 次に、日程第6、議案第44号 士別市議会基本条例の一部を改正する条例についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。松ヶ平哲幸議会改革検討特別委員長。

○議会改革検討特別委員長（松ヶ平哲幸君）（登壇） ただいま議題となりました議案第44号 士別市議会基本条例の一部を改正する条例につきまして、その概要を御説明申し上げます。

平成24年4月に士別市議会基本条例を施行してから約5年が経過いたしました。この間、議会報告会及び意見交換会の開催、一般質問による一問一答方式の導入、常任委員会、特別委員会での懇談会の開催など、議会一丸となって議会改革に取り組んでまいりました。

本条例改正は、今後、より一層の市民参加と市民との連携を目指し、これまでの意見交換会と議会報告会を新たに意見交換会として1つにまとめ、市民と議会が相互に意見交換会を開催できるようにするための改正をしようとするものであります。

議員各位におかれましては、御賛同賜りますようお願い申し上げ、提案説明とさせていただきます。（降壇）

○議長（丹 正臣君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第44号は原案のとおり可決されました。

---

○議長（丹 正臣君） 次に、日程第7、議案第45号 議員の派遣についてを議題に供します。

本案は、4月6日から7日まで留萌市で開催されます北海道市議会議長会道北支部議長会及び4月25日から26日まで旭川市で開催されます北海道市議会議長会定期総会に正副議長を、友好都市であります愛知県みよし市に行政視察及び議員交流のため議員5名を、それぞれ議案に記載のとおり派遣しようとするものであります。

本案については、提案者の説明を省略いたします。

質疑に入ります。

御発言ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(丹 正臣君) それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(丹 正臣君) 御異議なしと認めます。

よって、議案第45号は原案のとおり可決されました。

---

○議長(丹 正臣君) 次に、日程第8、陳情第1号 固定資産評価の見直しに関する陳情についてを議題に供します。

文教厚生常任委員長の報告を求めます。十河剛志委員長。

○文教厚生常任委員長(十河剛志君)(登壇) 文教厚生常任委員会に付託されました陳情第1号 固定資産評価の見直しに関する陳情について、当委員会における審査の経過と結果を御報告申し上げます。

本陳情は、不動産の評価額と実勢の価格が大きく乖離しているため、固定資産税の全面的見直しを行い、再評価してほしいという内容であり、当委員会において慎重に審査をいたしました。

審査に当たっては、審査に先立ち、議会基本条例に基づく懇談会を昨年12月27日に実施し、陳情者である固定資産の適正評価を求める会の代表の方から陳情の趣旨等について意見をお聞きした後、本年1月11日及び2月15日に委員会を開催し、行政から固定資産評価の方法及び現状等について関係資料に基づいた説明を受けるなど、調査を行いました。

固定資産税は、土地、家屋、償却資産の資産価値に着目し、その資産を所有することに担税力を見出して課税する財産税としての市町村税であり、本市の27年度市税収入22億9,400万円の41.6%を担うものであります。

本市における平成28年度の課税客体である土地は5万9,502筆、家屋は1万4,081棟に及ぶもので、この膨大な量の土地、家屋について、あえて再評価をして見直すことは、実務的に事実上不可能であることや、賦課にかかるコストが著しく増大するなど問題が多く、また、土地については、地価の下落により価格を据え置くことが適当でない場合については毎年価格を修正しており、家屋についても、総務省が告示する固定資産評価基準により算定した再建築価格を基準に評価されているとの説明もあったところです。

審査の結果、本市の固定資産評価については適正に評価されていると考えられ、近隣類似市と比較しても評価が高いとは言いがたく、また、陳情の内容についても現状にそぐわない点や風聞による点もあることから、本陳情は不採択すべきものと決定いたしました。

なお、行政におかれましては、平成30年の評価替えに向け、引き続き市民への丁寧な説明と適正な評価、公平な税負担に努めるよう願うものであります。

以上、当委員会に付託されました案件の審査の過程と結果を申し上げ、委員長報告といたします。（降壇）

○議長（丹 正臣君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） それでは、これより採決に入ります。

本案に対する委員長報告は不採択であります。

お諮りいたします。本案については、委員長の報告のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（丹 正臣君） 御異議なしと認めます。

よって、陳情第1号は不採択とすることに決定いたしました。

---

○議長（丹 正臣君） 以上で、本定例会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

平成29年第1回定例会は、これをもって閉会いたします。

（午前10時36分閉会）

以上、本会議のてん末を記載し、その相違なきことを証するため、ここに署名する。

平成29年3月17日

士別市議会議長 丹 正 臣

士別市議会副議長 谷 口 隆 徳

署 名 議 員 松ヶ平 哲 幸

〃 岡 崎 治 夫

〃 国 忠 崇 史